

Course number		U-LAS40 20007 LJ26					
Course title (and course title in English)		発達論 A Development Science A			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Institute for Liberal Arts and Sciences Associate Professor,TANAKA SHINSUKE
Group		Health and Sports		Field(Classification)		Health and Sports Sciences(Development)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group D	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods		Wed.2		Target year		All students	Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>『人間の進化と発達の過程　～あなたの中の人間の歴史～』</p> <p>発達（Development）の語は、包み込まれた未知の可能性が花開いていく過程を表す魅力的な言葉として地球上に生まれ、その概念の内容を豊かにしてきました。</p> <p>この講義では、人間発達の過程のうち、誕生から成人するまでに焦点をあて、発達のしくみと、人間独自の発達の魅力と特質について学びます。</p> <p>発達の過程では、特に4か月から6～7か月、10か月から1歳半、6歳から9歳、そして思春期・青年期14歳から20歳代など、ひとつの発達階層から次の発達階層へ飛躍的に移行する時期があることが知られています。</p> <p>この講義では、そのような飛躍が実現するしくみに焦点をあてて、人間の発達の魅力と、発達のもとになる力の形成を援助する方法について考えていく予定です。</p> <p>...</p>							
[Course objectives]							
<p>1）人間の発達過程の根底を貫いて流れる一般法則を理解するとともに、乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期の発達の基本的な特質について考察する。</p> <p>2）発達の過程で、人間らしい特質がどのようにして形成されるのかを理解する。とくに、青年期にある自分自身の力量を豊かにする方法について認識を深める。</p> <p>...</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>次のトピックスについて講義します。各トピックを1～2週ずつ取り上げる予定です。</p> <p>（序）はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達を学ぶ意義</li> <li>・生命・健康・発達の尊重と保障に関する国際動向</li> </ul> <p>（1）人間発達の過程と特質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1）乳児期：「人知り初めし微笑み」「我知り初めし心の働き」</li> <li>2）幼児期：「1歳半の飛躍」「自己信頼性」「新たな時間・空間・価値との出会い」</li> <li>3）児童期：「9歳の飛躍」「仲間とともに育ちあう」</li> <li>4）青年期：「14歳、心の中に秘密の小箱」「自己同一性の形成」</li> <li>5）成人期：「20歳の飛躍」「社会的自立への道程」</li> </ul> <p>（2）人間の発達と社会問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1）神経系・免疫系の基礎</li> <li>2）社会問題：医療被害、発達障害と療育方法、国際協力活動</li> </ul>							
<div>Continue to 発達論 A (2)</div>							

## 発達論 A (2)

...

### [Course requirements]

『発達論 B』（後期開講科目）（いわば未来）を経験することによって、この『発達論 A』（いわば過去）の意義がより深く理解できますので、『発達論 B』との連続した履修を推奨します。  
予備知識は特に必要ありません。文系・理系にかかわらず履修を歓迎します。

...

### [Evaluation methods and policy]

次のような発達の力量の形成水準と特質を評価します。

- 1) 人間の発達の大切さと不思議さをとらえ、重要な問題を発見していく力。
- 2) 主体的・自発的に柔軟に視点を設定して、新たな問題を構想していく力。
- 3) 仮説を設定し、資料を収集して、事実をもとに丁寧に論理的に筋道立てて結論を導く力。

授業ごとのミニレポート（40％）と、期末のレポート試験（60％）をもとに、これらの力量の到達度を総合的に評価し、教育の課題を考察します。

...

### [Textbooks]

講義中にプリントを配布します。  
ビデオ映像資料を活用します。

...

### [References, etc.]

（References, etc.）  
田中真介・乳幼児保育研究会 『発達がわかれば子どもが見える』（ぎょうせい）  
田中真介・乳幼児保育研究会 『続・発達がわかれば子どもが見える』（ぎょうせい）  
田中昌人・田中杉恵・有田知行（写真） 『子どもの発達と診断（5分冊）』（大月書店）  
田中昌人 『子どもの発達と健康教育（4分冊）』（クリエイツかもがわ他）  
以上のほか、授業中に適宜紹介します。

...

### [Study outside of class (preparation and review)]

授業中に指示します。

...

### [Other information (office hours, etc.)]

受講生が、仲間との共同学習を通して、自らの未知の諸機能（人類に共通する心身の諸機能）の発達の基本的なしくみとその社会的な形成方法について理解を深めていくことを期待しています。

...

また、受講生が自分自身の発達の魅力を発見して、これからの大学生活、社会生活に新たな見通しと希望をもつことができるよう援助していきたいと考えています。

...

### [Essential courses]